



## 「アレルギー科、存続を！」厚労相に申し入れ

アレルギーを考える母の会は6月27日、アレルギー患者会4団体とともに、公明党浜四津代表代行、同党アレルギー疾患対策プロジェクトチーム仲立ちのもと、柳沢厚労相に対して、「標榜診療科の見直し」を患者の立場で行うよう求めました。



母の会の他に、釧路アトピッコの会、国立病院機構相模原病院アレルギーの会、アラジーポット、エパレクの4団体。患者会がまとまって大臣に要望するのは初めて。

厚生労働省は今年5月、38の診療科名を26に整理する案を医道審議会診療科名標榜部会に提出。その目

的は、診療科名をわかりやすくし、「総合科」等を新設することのようですが、診療科名の削減案にはアレルギー科も含まれていました。



アレルギー科が無くなれば、専門医も見つけにくくなり、複数の器官に症状があれば多科受診で、検査・投薬の重複、医療費負担の増加が見込まれます。今回の申し入れに対し柳沢厚労相は「方針はまだ最終案ではない。患者や学会の意見を聞いて、よい結論を導きたい」と回答しました。



厚生労働省科学研究費研究班(平成17~19年度)  
「アトピー性皮膚炎の症状制御および治療法の普及に関する研究」作成

## アトピー性皮膚炎 かゆみをやっつけよう! 検索

\*アレルギーを考える母の会も協力しました。以下、主な項目です\*

### ① まずはかゆみを知ろう!

- ① どうしてかゆくなるのかな?
- ② アトピー性皮膚炎のかゆみ  
⇒ガンコなかゆみ(かゆみ→引っ掻く→皮膚炎悪化→悪循環)
- ③ かゆみが増すのはどんな時?
- ④ どうして掻いちゃダメなの?
- ⑤ こすり過ぎによる目の病気に気を付けよう⇒白内障や網膜剥離など

### ② かゆみをやっつけよう!

- ① 強いかゆみがある時の外用療法  
:ステロイド外用薬やプロトピック軟膏を中心に(効用と副作用/塗り方/使用量の目安/長期使用の方法等)
- ② 弱いかゆみがある時の外用療法  
:スキンケアを中心に(スキンケアの要点/保湿外用薬の種類と塗り方等)
- ③ かゆみを軽減させる飲み薬  
:抗ヒスタミン薬、抗アレルギー薬は、補助療法として有効
- ④ かゆくなってしまったら  
:掻くかわりに(冷やす、意識を他に向ける等)
- ⑤ かゆくならないように工夫する  
:身の回りの工夫(入浴/食事/睡眠/衣類/寝具/洗剤)
- ⑥ かゆくなってしまったら  
:掻いても害が少ないように(爪を短く切る/引っ掻きやすいところをカバーする衣服等の工夫)

### ③ かゆみを採点しよう!

- ① あなたのかゆみは何点?  
(その1:かゆみの強さ)
- ② あなたのかゆみは何点?  
(その2:昼と夜のかゆみの強さ)
- ③ かゆみ日記をつけよう  
⇒どういう時に掻いているのかを把握する



第57回日本アレルギー学会秋季学術大会 公開市民講座 **無料**

2007年11月3日(土) 12:40~15:50 パシフィコ横浜5F小ホール

【1部】そのとき、あなたは どうする? 知っておきたい救急の知識 (仮題)

【2部】患者やその家族が知っておきたいアレルギーの知識

- 座長 ■ 井口 泰泉 (基礎生物学研究所 岡崎統合バイオサイエンスセンター)
- 講演 ■ ①「奪われし未来」の紹介と環境ホルモンとアレルギーの話(同時通訳付)(仮題) / John Peterson Myers (CEO/Chief Scientist, Environmental Health Sciences, USA)
- ②小児アレルギー児をかかえる母親の闘病記から、アレルギー児を支える全国ネットが出来るまで / 栗山真理子 (アラジーポット)
- ③知っておきたい食物アレルギーの知識  
相原 雄幸 (横浜市立大学附属市民総合医療センター 小児総合医療センター)
- ④知っておきたい気管支喘息の知識  
金子 猛 (横浜市立大学附属市民総合医療センター 呼吸器内科)
- ⑤知っておきたい鼻閉の知識  
石戸谷淳一 (横浜市立大学附属市民総合医療センター 耳鼻咽喉科)
- ⑥知っておきたいアトピー性皮膚炎の知識  
松倉 節子 (横浜市立大学附属市民総合医療センター 皮膚科)

■事務局 ■ 〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9 横浜市立大学大学院医学研究科環境免疫病態皮膚科学 TEL: 045-787-2675 FAX: 045-786-0243 E-mail: jsa57-office@umin.ac.jp URL: http://jsa57.umin.jp/  
主催: 第57回日本アレルギー学会秋季学術大会 共催: メルク製薬株式会社



## 環境再生保全機構 DVD 無料レンタル

赤澤 晃 先生の

「ぜん息・アトピー性皮膚炎・食物アレルギー講演」をご自宅で!

■収録 ■ 平成19年2月、世田谷区で開催の講演会「アレルギーの克服に向けて」

■申込み ■ 環境再生保全機構HPから  
<http://www.erca.go.jp/> > ぜん息などの情報館 > パンフレット&ビデオ



## アメリカのガン専門医に学ぶ 『最高の医療を受けるための患者学』

- 著者 ■ 上野直人 (MD アンダーソンがんセンター准教授・腫瘍分子細胞学博士)
- 発行 ■ 講談社 2006年7月 税別800円
- 内容 ■ 最良の医療を受けるための具体的な振舞い方や、医療に参加するための方法等を解説。

◆最高の医療を受けるための9つのステップ◆  
(本文には各項目の詳細あり。ガン患者対象)

- ①あわてずに自分の病気を知ろう
- ②必要な情報を病院で集めるコツ  
診察室で医師の話を聞くときは…
- ③「自分のカルテ」を自分で作る
- ④質問上手になる
- ⑤医師の話した内容を消化する
- ⑥その治療は標準療法ですか
- ⑦ベストの治療法を決断する
- ⑧自分の希望を伝えましょう
- ⑨恐れずにチャレンジしよう



## 患者交流会 ちょっとchatの会

かながわ県民センター15F 相談室①  
(横浜駅西口徒歩5分)

- 来所相談 ■ 毎月第4火曜 10:00~12:30
- FAX相談 ■ 045-312-6307 (相談室)
- 問い合わせ ■ Tel:045-312-1121・内線3501

\*お気軽にお越し下さい\*

